

○「九条の会」は04年6月、井上ひさしや大江健三郎、澤地久枝ら9人の呼びかけで「憲法9条を守る」という一点で生まれた会です。今や全国に7,507、福島県内でも100以上の会が、超党派で、独自の自由な平和のための活動をしています。「はらまち九条の会」にはどなたでも入会できます。年会費千円。事務局までご連絡下さい。



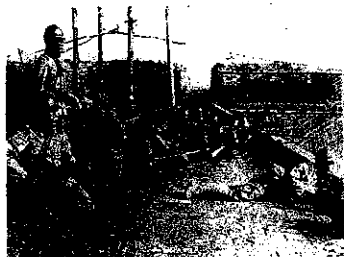
## 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.148

2010(平成22)年 9月18日(土)発行

<1931(昭和6)年9月18日、柳条湖(りゅうじょうこ)の鉄道爆破で満州事変が起こされた>

●柳条湖事件(1931=昭和6)



●満州事変の発端になった事件で、満州の軍事占領を計画した関東軍の参謀板垣征四郎(いたがきせいしろう・戦後A級戦犯として絞首刑)、石原莞爾(いしはらかんじ)、奉天特務機関長土肥原賢二(どいはらけんじ・戦後A級戦犯として絞首刑)らの陰謀によるもの。●関東軍が、奉天(瀋陽)郊外柳条湖の南満州鉄道の線路を爆破。これを張学良軍のしわざと称して付近の兵營北大營を奇襲攻撃。時の第2次若槻礼次郎内閣はただちに不拡大方針を声明したが、関東軍はこれを無視して戦域を拡大。これが中国との昭和20年終戦までの「十五年戦争」に発展。●翌年1932年満州国が成立。さらに1933年に日本は国際連盟を脱退する。

原町ご出身で現在福島市在住の作家・郷土の現代史研究家の二上英朗氏が、独力で企画する写真展が開催されます。8月の【原町空襲から65年展】、9月の【海を渡った南相馬人展】、道の駅での【無線塔大回顧展】に次ぐ開催です。

日時：10月9日(土)～17日(日)

会場：原ノ町駅前南相馬市中央図書館ロビー

1944～1953原町陸軍飛行場と無線塔下

【特攻隊と米軍基地の時代・写真展】

企画展示：二上英朗氏(本会会員)

昭和19年10月のフィリピン戦において、敗色濃い日本の陸海軍は、必死必殺の戦法として特別攻撃という人命を無視した最後の戦いに挑んだが、その後の沖縄戦・本土空襲・原爆投下で完膚なき民力の消耗を招き、大日本帝国は滅亡した。

昭和20年の無条件降伏による敗戦。21年の天皇の人権宣言による神格否定。22年の新憲法発布。23年から28年までのふるさと南相馬の進駐軍占領時代をたどります。

昭和の青春時代。若者は、戦争一色に染められていた。男

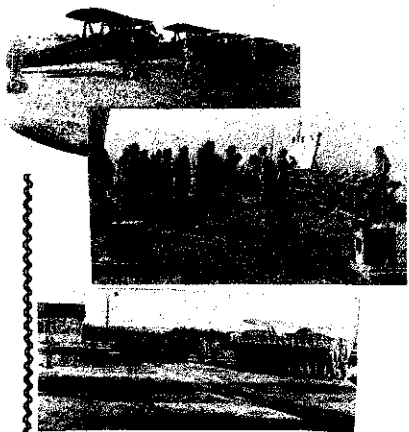
たちは戦場へ送られ、女たちは兵器としての子供を生む機械にされた。

いま、ほんとうの教育の力と、文化の力を見直しませんか。

国を守る力は軍事力だけではありません。教育・文化の力を見直し価値観の共有をめざし、アメリカ、ロシア、中国など大国および世界諸国との共存共栄の道を、歴史の原点から考えてみませんか。

(二上英朗)

◆主な展示写真◆ 原町飛行場 特別攻撃隊：神州隊 国華隊 振武24隊 皇魂隊 特攻死された原町出身中野磐雄・志賀敏美 原町で撮影された特攻隊員たちの生前最後の姿 アメリカ空軍原ノ町レーダー基地・兵士など二上氏手作りの写真展です。



# NHKテレビ大河ドラマ「龍馬伝」も まもなくクライマックスを迎えます！

< テレビのキャストと実際の肖像を比べてみました >

< 龍馬の言葉 >

「日本を今一度洗濯いたし申候」  
 「恥ということを打ち捨てて世の中の事は成るべし。使い所によりてはかえって善となる」  
 「世の人は我を何とも言わば言え、我が成す事は我のみぞ知る」  
 「若い頃の言葉で、生き方や信念が表れています」

2010年大河ドラマ  
**龍馬伝**  
 RYOMADEN  
 SEASON 2  
 KYUJAL the NAVIGATOR

あまりにカッコ良すぎる龍馬！ 史実との違いも多く、ナショナリスムを煽りすぎるといふ批判も！

雲屋のようつに去る

どなたか、史実か？

どなたか、フィクションか？

坂本龍馬  
 福山雅治

お登勢  
 坂本乙女

龍馬はお登勢を慕い、親しみを込めて「おかあ」と呼んだといわれています。(高知県立坂本龍馬記念館提供)

身長約174センチ、体重約112キロという大柄な女性でした。龍馬が生産で最も多くの手紙を書いた人物です。(高知県立坂本龍馬記念館提供)

美しい女性たち

晩年のお龍

龍馬ごま後は商人西村松兵衛と再婚しますが、晩年はアルコール依存症であったといわれ、不遇の時代を送り、66歳で永眠しました。

西郷隆盛  
 中岡慎太郎

岩崎弥太郎

龍馬  
 勝海舟

写真は慶応3(1867)年の1月に撮影されたと思われ、海援隊の結成は同年4月であることから、龜山社中の頃と推察されています。龍馬は左から3番目。(雲山歴史館蔵)

池田屋騒動や禁門の変に海軍衛生が関わっていたため一時突進しますが、島原家見の戦いの後は幕府の禁衛を任せられて江戸無血開城を成し遂げました。

三菱も知っています

高杉晋作

武市半平太

毎週見てますが、スゴイ！

桂小五郎

おてと史実と見比べると、おては

維新後は参謀となって版籍奉還(はんせきほうかん)や廃藩置縣(はいはんちけん)に力を尽くし、岩倉使節団では副使も務めました。享年45。(国立国会図書館蔵)

山内容堂(豊信)

< 11月15日が誕生日。33歳の同日に京都近江屋で暗殺された >  
 ■坂本龍馬さかもとりょうま(1835~67)は、四国の土佐藩の郷土(下土もと長宗我部の家臣)坂本八平の次男として生まれる。江戸で北辰一刀流の剣道を学ぶ■28歳で脱藩し江戸で勝海舟かつかいしゅうの門下に入り、海軍航海術を学んで海援隊を組織する■西郷隆盛、木戸孝允きとたかよしと薩長同盟を成立させ、土佐藩から脱藩の罪を許され、海援隊も藩の公認となる■藩主山内容堂やまのうちようとうを動かして幕府の大政奉還を実現させる■さらに新政府の実現に向け活動中、京都近江屋で中岡慎太郎とともに暗殺される。それは明治維新の前年の1867(慶應3)年11月15日、龍馬33歳の誕生日でした■もしも龍馬が明治時代まで生きていたら...